

4 (自由提案部門)

事業名	しまねのものづくり発見ツアー ～「鉄」と「銀」が育んだ文化と歴史を巡る産業観光モニター事業～
実施主体	NPO法人 しまね歴史文化ネットワークもくもく
県関係課	観光振興課

事業の成果

事業の目的 [観光交流]

- 島根県には、奥出雲を中心とした「たたら製鉄」、世界文化遺産登録が待たれる「石見銀山」などの古来から面々と培われた多くの産業遺産があり、産業観光資源として県内外から注目されている。
- たたら製鉄、石見銀山は産業遺産としての価値は非常に高い物があるが、アミューズメント性が低いため、その見せ方を工夫しこの地域での産業遺産の観光スタイルを確立することねらって実施したものである。

事業の内容

- 県内外の産業観光ファンを募集し、島根の産業のルーツを巡りながら、周辺地域に残る希少な産業遺産や現産業・生活文化を見学・体験してもらう模擬観光をセミナー(日帰り:参加費2,000円)として実施した。

鉄の道コース(11月12日)

近代たたら操業見学 菅谷集落・菅谷たたら高殿見学 田部家土蔵群見学

銀の道コース(11月19日)

大森町並み散策(建築様式等) 石州瓦工場見学 西往寺(仁摩町)鍍絵見学
福光石採石洞窟見学 温泉津散策



目的の達成状況 [概ね達成できた]

- 準備期間や経費の関係で十分なPRができなかったが、参加者には好評だった。
- 旅行業法の関係もあって1泊2日などの観光コースではなく、日帰りのセミナーという方式で開催せざるを得なかったが、予定した行程はほどよく踏破できた。

反省点・改善点

- 観光地として整備されている産業遺跡ばかりではないので、観光客の受け入れのためには地元住民の理解が必要になる。
- 自分たちのNPOの活動をもっと理解してもらい、地元での協力体制を作ることができればよかった。

協働の効果

県との協働内容 [協働して実施した]

- 県のHPへの掲載、チラシの配布などの広報面で県の協力を得た。

県との協働効果 [概ね効果があった]

- 当NPOが主体の広報であったが、県の協働事業ということで信頼を得られた。

県への要望事項 [特になし]

反省点・改善点

- 当初の事業計画にあいまいな点もあり、十分な議論なく進んだこともあり、事前調査・人員確保の点で準備不足の面があった。

市町村との協働 [協働して実施した]

- 雲南市・大田市の担当者にルート設定についてのアドバイスや調整作業をしてもらったほか、ガイド、現地案内を担当してもらった。

事業の継続

事業成果の活用 [その他]

- 鉄の歴史村地域振興事業財団や石見銀山協働会議にも参画しているので、今回の成果をもとに他の事業との連携で発展させたいと考えている。
- 特に石見銀山協働会議においては、産業観光が一つのテーマに上がっており、体験観光もからめてレベルを高めていきたい。

事業の継続状況 [助成を受けて継続実施している]

- 今年度は、文化ファンドの助成を得て「2006 石見銀山体験講座(9月16～18日)」として、遺跡ウォーク、保全活動、公開講座を実施する。

協働による発展 [協働により発展できる]

- 単に観光コースを提案するだけでなく、実際に観光客に来てもらってこそ、受入態勢も整ってくる。
- 遺跡を利用した産業観光は未開発の分野であり、料金収入による自立実施を行うためには、魅力ある受入態勢を引き続き検討していく必要がある。
- 行政には、資金的な支援を期待したいところだが、まずは専門的知識を持った職員による人的支援、施設利用面における物的支援をお願いしたい。
- 工場見学の対応を充実してもらえば、産業遺産と組み合わせ、産業観光の内容を深めることができる。

